

避難訓練

19日(月)避難訓練を行いました。

事前指導として、8時20分から防災集会で山路先生が避難訓練時の確認をしました。教室、体育館、運動場、廊下、階段、トイレ、特別教室等発生場所別に地震発生時の対応を話しました。続けて避難経路の確認をしました。東神吉南小学校の校舎内には4か所階段があり、基本的に一番近い階段から避難すること。但し、崩落等の危険がある場合は緊急放送をよく聞いて別の階段から避難することを確認しました。最後に、南海トラフ地震と山崎断層型地震の想定震度を確認しました。東神吉南小学校に関しては、山崎断層型地震の方が南海トラフ地震よりも想定震度が大きいことを知り、私も少し衝撃を受けました。確かに昭和59年に発生した地震の方が平成7年に発生した地震よりも大きく揺れた気がします。

実際の避難訓練は、13時25分に開始しました。訓練放送後、身の安全を確保し、使えない階段を確認し、近くにいる教師の指示に従って運動場に避難しました。運動場集合後、校長から阪神淡路大震災の話、ボランティアの誕生、避難する時の4つの約束の確認、南っ子が大人になった時の話をしました。

各クラスでも事前指導を行ったことや、今週末、テレビ等様々なメディアで阪神淡路大震災の話が取り上げられたこともあり、子どもたちは事前にたくさんの知識を得ていました。同時に地震の怖さ、避難の大切さ、避難訓練の重要性をよく理解していました。12月の火災避難訓練の時とは見違えるくらいきびきびと避難し、話も真剣に聞いていました。

地震を含め、災害はいつ、どこで起こるかわかりません。子どもたちが、自分で判断し、避難できるよう指導を続けます。

